

競泳のすごい選手

皆さん、こんにちは！国際交流員のスティーブン・キヤーネルです。今日は、先週紹介しました「競泳」の話に引き続き、競泳の強い選手を何人か紹介したいと思います。

東京 2020 オリンピック・パラリンピックが近づき、出場を目指している選手は激しいトレーニングをしてオリンピック・パラリンピックの標準記録を満たすために努力しています。

豊橋市のホストタウン相手国であるリトアニアのダナス・ラブシス選手は既に東京 2020 大会の出場を決めました。ラブシス選手は 2018 ショートコース世界選手権で 400m 自由形の金メダルを獲得しました。2018 ユニバーシアードの 200m 自由形と 200m 背泳ぎで優勝しました。2019 年世界水泳選手権の 200m 自由形決勝戦も 1 位で終わりましたが、試合後不正スタートが明らかになったため、失格になりました。豊橋のパートナーシティであるパネヴェジース市出身のラブシス選手は来年の大会で 200m と 400m の自由形、それから 200m 個人メドレーに出場します。応援しましょう！

もう一国豊橋市のホストタウン相手国であるドイツのサラ・コーラー選手は今年の世界水泳選手権大会でチームの金メダルと個人 1500m 自由形の銀メダルを獲得しました。コーラー選手はオープンウォーターでも争っていますので、2008 年北京オリンピックから正式種目になっている 10km マラソンスイミングにも出場する可能性があります。

日本の瀬戸大也選手は最近水泳界の注目になっています。瀬戸選手は東京 2020 大会で 200m と 400m 個人メドレーの出場が決まっています。2016 年リオオリンピックで 400m 個人メドレーの銅メダルを獲得した他、世界水泳選手権大会で金メダルを 4 つ、銀と銅メダルを 1 つずつ獲得しました。



瀬戸大也選手

¹ 画像：第 1 ページ下右：Oleg Bkhabri (Vollmetro) [CC BY-SA 4.0]

第 2 ページ上左：Korea.net / Korean Culture And Information Service (Photographer name) [CC BY-SA 2.0]

下右：Tom Page from London, UK [CC BY-SA 2.0]



孫楊選手

私の母国のアメリカも競泳が強いです。オリンピックで 5 回金メダルを受賞したケイティ・レデッキー選手はさらなるメダルの獲得を目指しているに違いありません。オリンピックで 6 回金メダルをとっているライアン・ロクテ選手もリオ大会の不祥事から競泳への復帰を果たし、東京 2020 大会の出場を目指しています。

他には去年シンガポールとしては初めて水泳の金メダルを獲得したジョセフ・スクーリング選手や、ドーピング違反を告訴されている世界一の自由形水泳選手と言われている中国の孫楊選手の出場も予想されています。

パラリンピックの競泳もものすごく速いスピードで進歩しています。世界記録はオリンピックとの差もだんだん狭くなってきます。パラリンピックではロシア、中国、アメリカ等が強いですが、日本とドイツにも強い選手が出ています。

その中にクラス 3 と 4 を争う圧倒的に強い鈴木孝幸選手がいます。パラリンピックで 5 回、パラリンピック世界水泳選手権大会で 11 回メダルをとり、2019 年のアジアパラゲームズで金メダルを 5 つ獲得しました。鈴木選手はどの大会に行っても新記録を樹立するようです。浜松市出身ですので、応援しましょう！

ドイツのヴェレーナ・ショット選手がクラス 5、6、7 の種目に参加しています。ショット選手はロンドン 2012 大会のクラス 6 の 200m 個人メドレーで銀メダルを獲得しました。2016 年に世界パラ水泳選手権大会のクラス 7 の 100m 背泳ぎで優勝しました。

来年のオリンピック・パラリンピック競泳では初出場も新記録も多くみられると思います。オリンピックの競泳とパラリンピックの競泳を観て、日本、ドイツ、リトアニア、それからアメリカの選手を応援しましょう！



ヴェレーナ・ショット選手